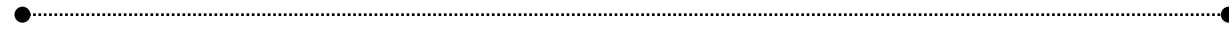


平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	赤塩焼復活プロジェクト
事業主体 (連絡先)	赤東区 上水内郡飯綱町扇平団地195-22
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	739,413 円 (うち支援金: 508,000 円)



事業内容

赤東地区には、伝統工芸品「赤塩焼」が作られていたが、現在ではその技術を受け継ぐ者がなく途絶えてしまった。その貴重な文化を、町の宝として再び地元で造る「赤塩焼」を復活させ、地元への誇りと愛着がもてるまちづくりの推進を実施。

- ・赤塩焼体験教室：7月～9月
月一開催 延べ29名
- ・啓発パンフレット作成：10月
- ・赤塩焼跡地看板設置：11月
- ・シンポジウムの開催：1月28日
赤東コミュニティー消防センター 77名参加



【赤塩焼体験教室】

【目標・ねらい】

- ① 赤塩焼を後世に伝えていける人材育成
- ② 赤塩焼の認知度向上
- ③ 地元への愛着の醸成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 体験教室に参加された方より、積極的な啓発委員会への協力があり、赤塩焼を通じた繋がりに期待が持てる。
- ② 赤塩焼の歴史や特徴が一目でわかるパンフレットや、シンポジウムの開催によって赤塩焼に関わる情報提供が多くなった。まぎれもなく1年前より認知度は上がっていると実感している。
- ③ シンポジウムでのアンケートの中に「飯綱町にこんな立派な焼物があったことに誇りに思う」とあり、また、「こうした町の財産についてもっと知りたい」等、赤塩焼を知ることによって地元地域を再認識されるきっかけになっている。

※自己評価 【 B 】

【理由】

・今回の「復活」で目指したのは、物よりも認知度に重点を置いたものであったので、その点においては効果があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後とも啓発委員会として、復活に向けた取り組みがスムーズに進むよう、地域・町と協力して調査、育成に尽力していく。また、赤塩焼の用途の拡大を図り、洗練した形を研究し、ブランド化を目指していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある